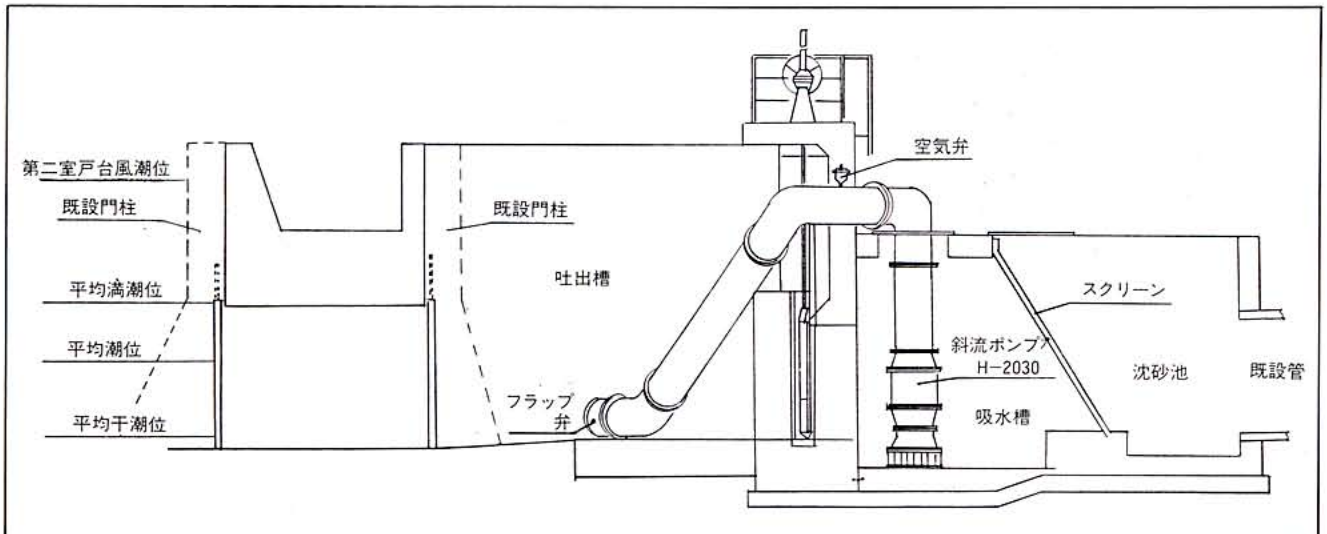


JOB REPORT

新浜仮排水機場 水中斜流ポンプ



納入実績と無事故の信頼性で採用が決定

新浜仮排水機場は徳島市南東部に位置し、ポンプは新浜地区の溜水を園瀬川へ出すために設置された。園瀬川は川といっても徳島港に近く、ポート置場があるぐらいで満潮時には逆流水がある所である。

徳島市役所の綿密な計画に基づき、桜川のH-2030形が採用された。同市へは既に500mm、600mmを中心に桜川ポンプは30台の納入実績がある。今回も500mmという事で、過去の実績と今までノントラブルで働き続けているという信頼性が認められ採用、決定された。

仕様は口径500mm、全揚程3m、吐出し量30m³/min、モーター出力22kWとなっている。しかし前記の通り港に近い事もあり、浸水時は第2室戸台風時の潮位になっても排水可能にする事が桜川の水中ポンプに課せられた使命であった。そこで希望の3m以上の仕様にも十分耐え得るようにと、斜流ポンプで設計がなされた。

設置時には地区の住民も見に来られ、タールエポキシ樹脂で黒く塗られたポンプを見上げていた。約2m高さのポンプを前にして、このポンプなら自分達の生活を守ってくれると大きな期待がよせられている。



新浜仮排水機場の地上部



槽の中のH-2030

ポンプ仕様

- 形式 水中斜流
- 口径 500mm
- 全揚程 3m
- 吐出し量 30m³/min
- モーター出力 22kW
- 電圧 200V
- 周波数 60Hz
- 極数 10P
- シール方式 ダブルメカニカルシール
- 保護装置 サーマルプロテクタ、浸水検出器